

今より少し便利で イケてる生活へ

～大人の生活を見て考えたこと～



香川県立高松養護学校 谷口公彦

sさんのお宅からのsos



- 重度の身体障害と構音障害
- ヘッドスティックでパソコン操作
- パソコンの調子が悪くて不安
- 買い換えたいけど、専用ソフトや機器がたくさんで難しい
- 手伝ってくれる人が近くにいない

実際にご自宅への訪問を重ねながらサポート



- パソコンの入れ替え
- 専用品の後継製品探し
- 「重度障害者意思伝達装置」給付制度利用
- 電気店で、納品やセットアップの依頼
- 古いPCからのデータの救い出し etc

何とかサポートが完了

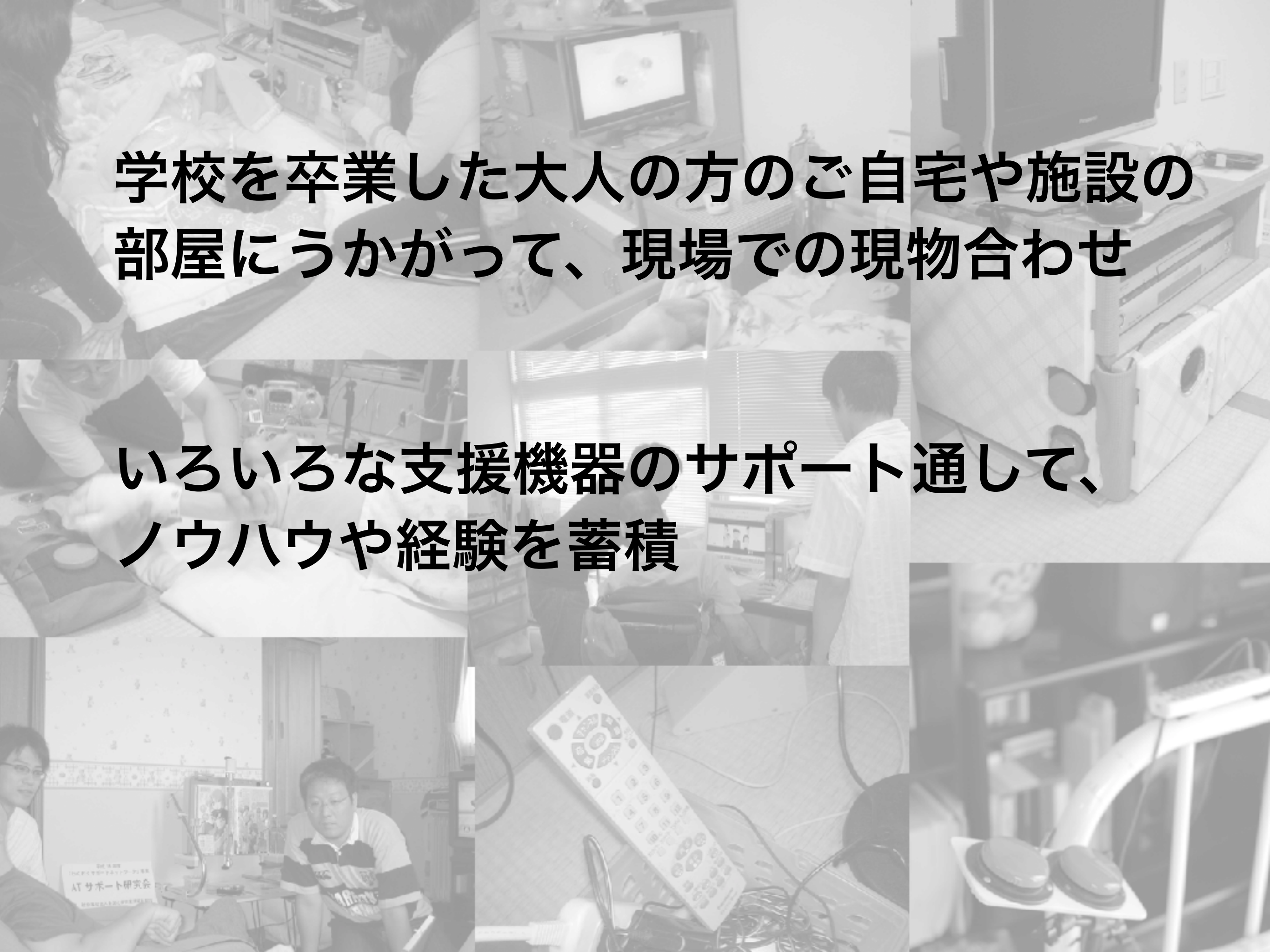


- これまでの活動を維持
- 今までより、少し便利な環境に
- 情報収集、手続き、そして
トライアル&エラーの連続
- 時間の工面の問題
- 他にも似た状況の人が...
- 個人活動では、対応して
いけないなあ

ATサポート研究会



- ー 職場の同僚や後輩
- ー 大学の先生・学生
- ー 福祉関係者、施設職員
- ー リハ関係の先生



**学校を卒業した大人の方のご自宅や施設の
部屋にうかがって、現場での現物合わせ**

**いろいろな支援機器のサポート通して、
ノウハウや経験を蓄積**

- 行ってみて初めて分かることが多いこと
- 生活にはいろいろな事情が絡んでいること
- 障害のある方の生活への想像力や発想力



生活の場に身を置いて、いろいろなことを見聞きする機会

キヨさん（当時30代）

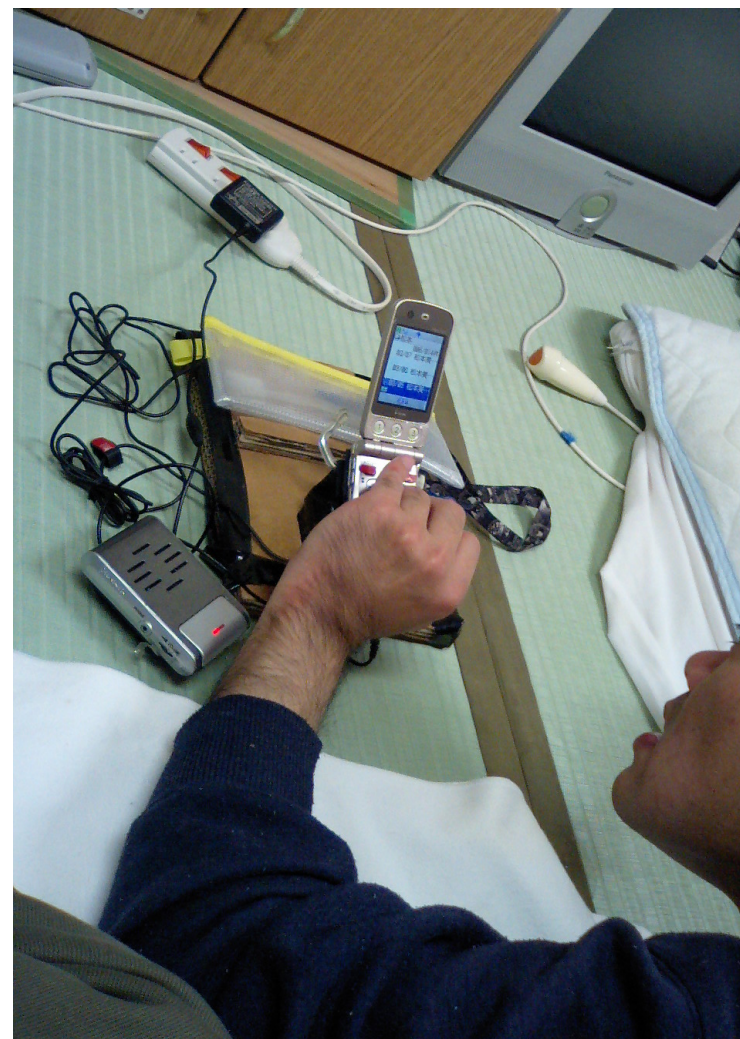
本校卒業生

入所施設で生活

学生時代からワープロを始め
パソコン歴は十数年



僕って・・・携帯電話って・・・使えないかなあ

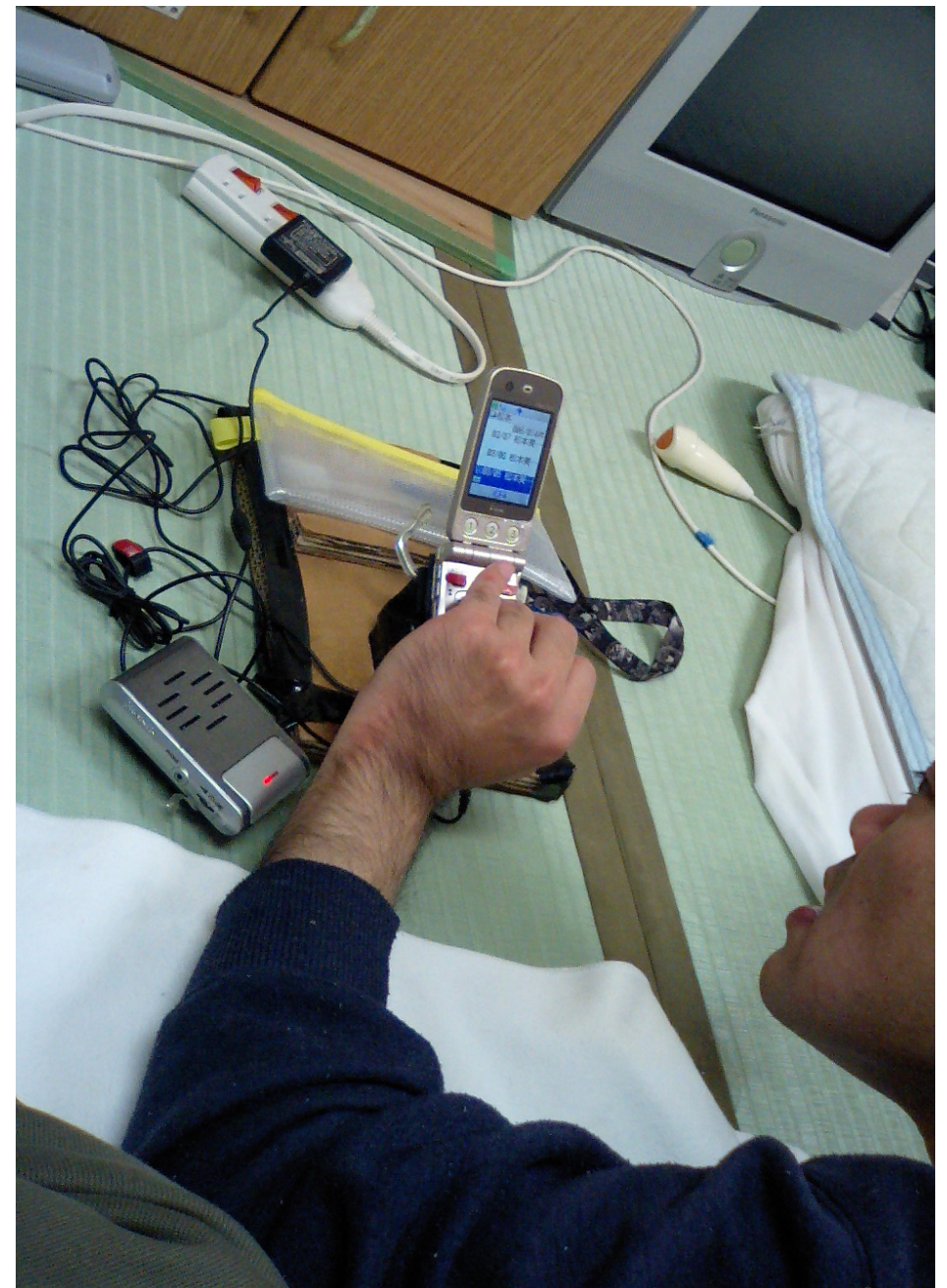


キヨさんの携帯電話の設定

自室での電話、メール

プライバシー
遠慮・タイミング

「思いついた時に、
誰に連絡しても構わない」



ICT機器の導入が生活に与えた影響



10年経った現在のキヨさんの携帯電話
(ほとんど変わっていません)

スマホへの乗り換えを手伝って欲しい

今よりも、少し便利でイケてる生活

- キヨさんとの連絡、やりとりに困りを感じていた。
- 機器が、必ずしもキヨさんの活動の実現に役立っていないのでは・・・？



キヨさん視点

- 携帯メールの入力が大変になってきた
- 返信が面倒で、そのうち忘れる
- パソコンでのメールは通知が来ないし、広告メールが溜まって・・・

谷口視点

- 用件はメールで教えてほしい
- メールへの返事がこない
- 返事がないまま、やりとりが途切れる



キヨさん視点

- できれば電話ですませたい
- 出てもらえないことも多い
- 要件を言い切らないうちに切られてしまう
- それでも携帯電話は大切

谷口視点

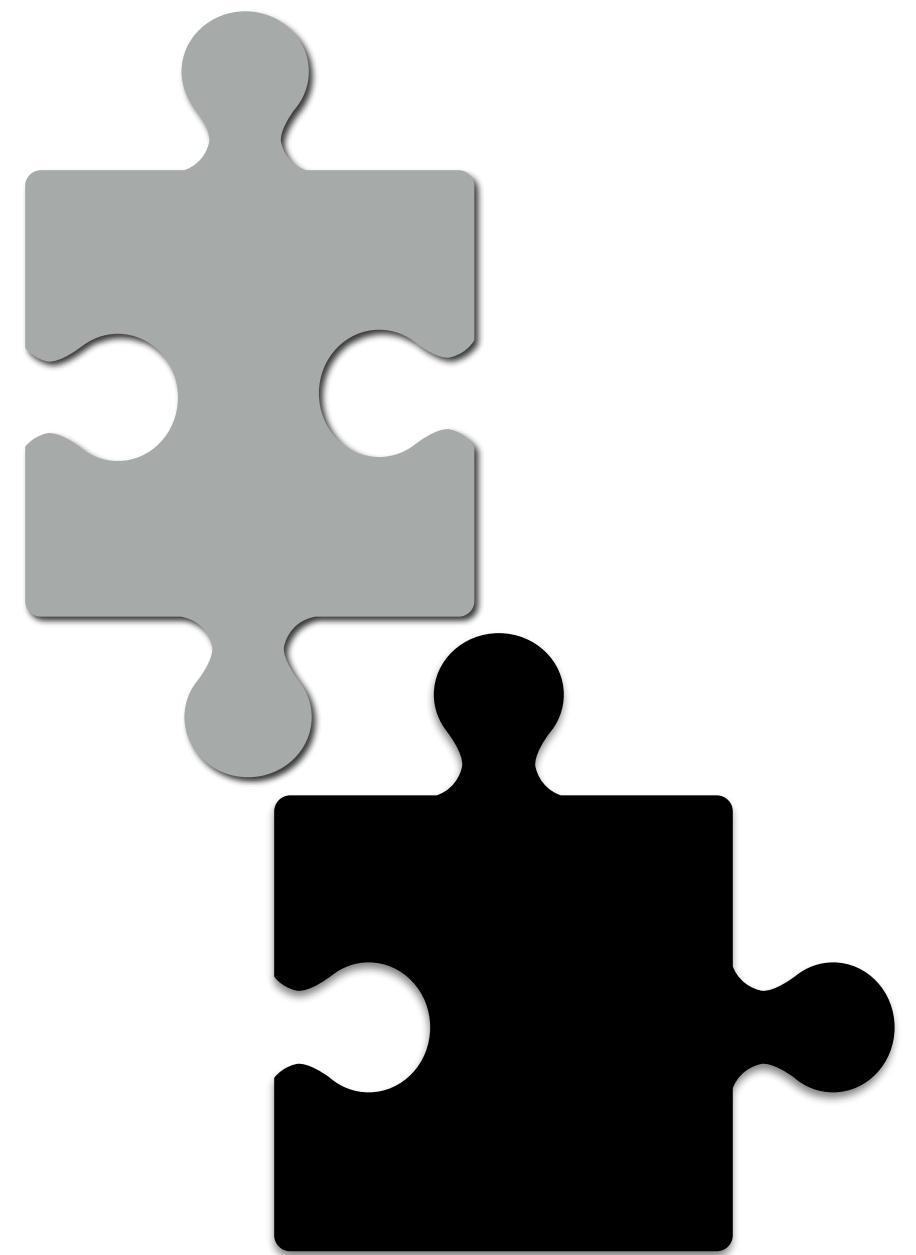
- ズレなく会話をするのに時間がかかる。
- 「ついでに」が多くて終わらない
- 長くなりそうで電話を受けられない。掛け直しも躊躇
- 面会も同じ。頻度はすぐ下がる



連絡手段についての
お互いの事情の合わなさ

相談ごとが解決しない
希望が叶わないまま

ATサポート研究会も
サポートの力が減衰



メールの不便を「パッと解消」

広告メールが多くて、
メールが見つけれられない

広告メールの解約
フィルタリング

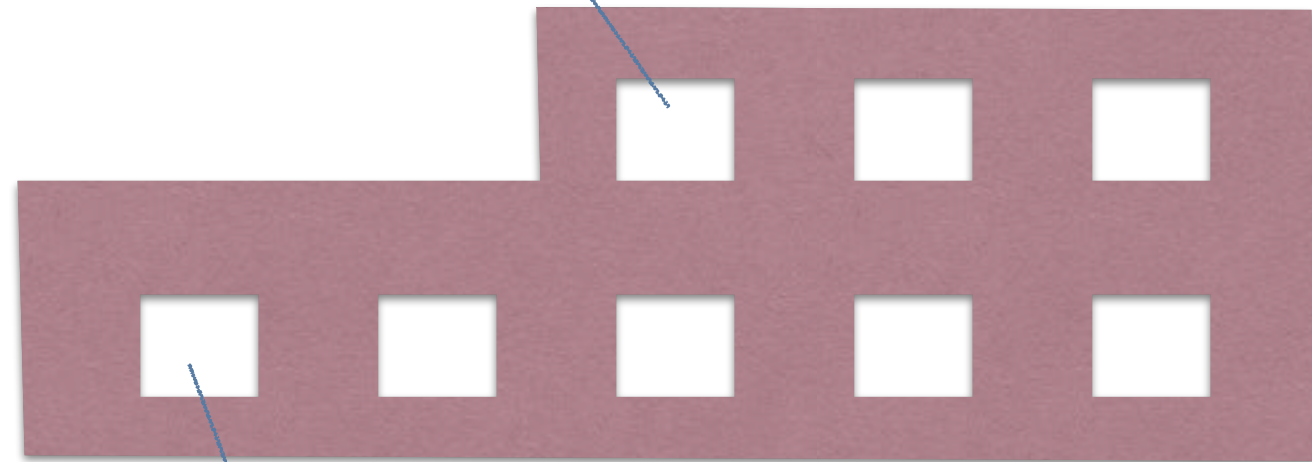
携帯電話での入力が
大変になってきた

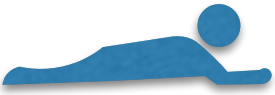
Facebook
LINEの活用

通知がこないのも、
チェックを怠りがち

パソコンとの
組み合わせで

 パソコン室



 自室

(和室・二人部屋)

魔法のプロジェクトのiPhone
を自室に置いて着信確認



返信は、翌日パソコン室で

ビデオ通話がとどきましたよー。

手が当たったんでしょうか??



。はな😊

9月19日 9:19



ごめんなさい。いろいろとさわって
いたら谷口先生の顔が写ってい
てビックリしたよ😨

9月19日 10:41

いいですよー。

まだ慣れてないんですから。

9月20日 9:12



ゆっくりするように



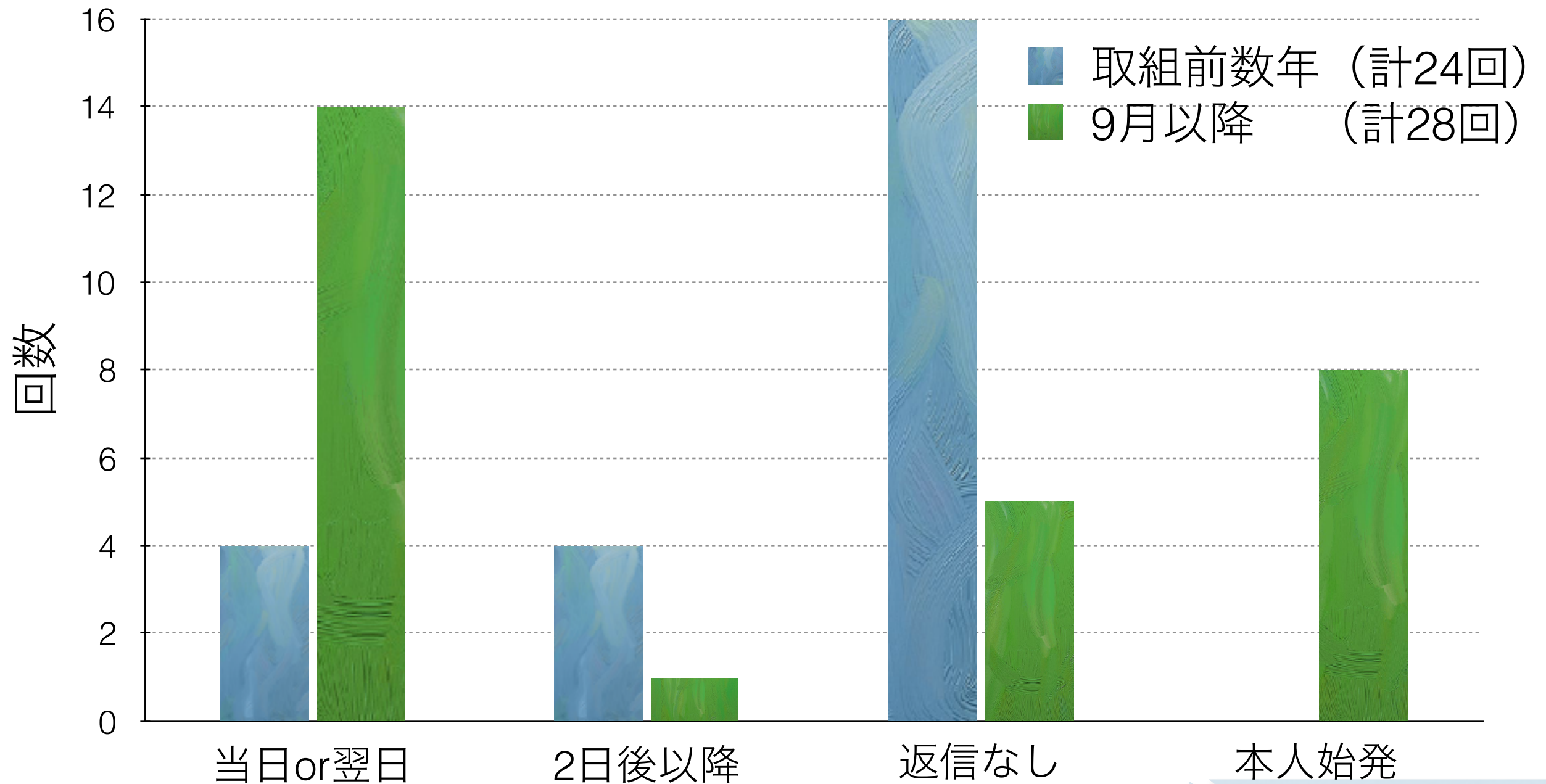
心がけるね



Aa



メール・メッセージの返信にかかる日数の変化



再び、互いの時間のズレを補ってくれるツールに

面会にはとにかく「時間がかかる」

1. 1回30分の短時間訪問
2. その分、頻度を上げる
3. 用事がなくても通ってみる

「時間がかかる」こと自体を
取り除いてみると・・・

- 時間調整の段取りがほぼ不要
- サポートは細切れになったが、キヨさんの役割が増えた
- ミッションに迫られない分、気づきや周辺情報が増えた

9月

27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10月

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

11月

29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2

12月

26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

通話も電話と同様のスタイルで

詳細な打ち合わせでなく、雑談のツールに

1. 1回30分までの短時間通話
2. その分、取る頻度を上げる
3. その日のうちに掛け直す

「少し便利でイケてる生活」に つながっていることを示すエビデンス



- 年賀状づくりのエピソード
- 20年以上、パソコン活用のための大学生アルバイトを利用
- 年賀状もその一環で
- しかし、大学生アルバイトがついに途切れ、年賀状づくりも存続の危機

昨年の年賀状アルバイトを探す取組



- 大学の先生との打合せのメールのやりとりが途切れ途切れに
- 大学の先生から会う曜日を提案されたが、自分の予定の変更ができない
- 時間切れで、谷口が大学に出向いて急場をしのぐ結末

今年 of 取組



- キヨさんから大学の先生に協力依頼のメールを送る
- アルバイトの学生さんとの連絡に、谷口からFacebookメッセンジャーのグループチャットを提案
- 「次から困るから自分でやってみるよ」と主体的に
- キヨさんがキャプテンとしてやりとりを仕切る

- 無事に年賀状が完成！
- 「素晴らしいキャプテンぶりでしたね！」
という言葉に笑顔

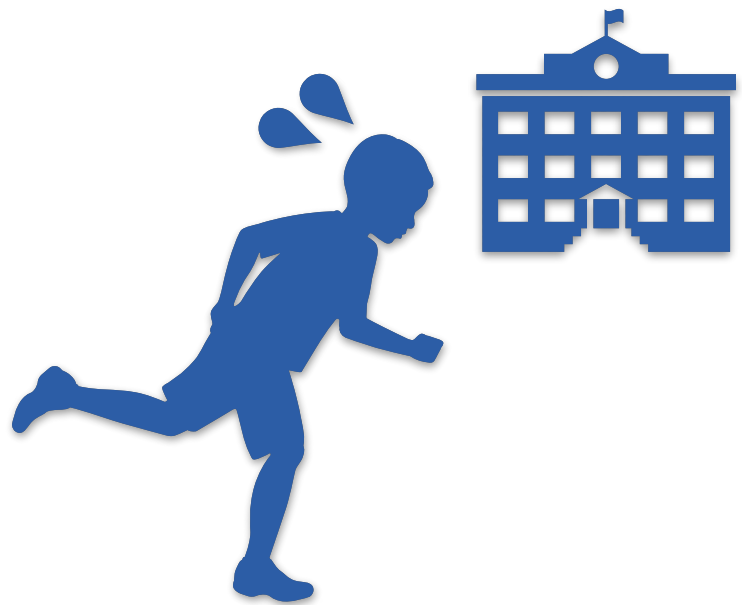
機器環境の見直しが、活動実現に役立った

キヨさん自身も、
「イケてる感じ」をもてたのでは

“大人を見て教育を考える”

何が違ったのでしょうか

去年



今年



機器環境以外にも、活動実現に関わる要素があったのでは

何が違ったのでしょうか



- 支援者が選択肢を示して、キヨさんが答える
- 依頼した後は、相手の出方、提案を待つ立場

いつの間にか、取組の主体が入れ替わる・・・？

いつの間にか、主体が入れ替わってしまう生活状況



私の教育活動を振り返ると・・・

- 取り組みの主体が、教師の側に移っていないか？
- 教師の立ち位置の点検
- 試行錯誤を許容できる時間・・・

子どもに任せる前提は、
必要な手段と一緒に準備しておくこと

スマホへの乗り換えはどうなったか

- 「暖かくなったらお店に行くよ」と先延ばし
- この乗換ミッションもキヨさんをキャプテンに
- 取り組みが頓挫しないようにサポートするつもり
- 大人の方とのお付き合いでは、タイミングを逃さず話を進めることもあるが・・・



「つながりを途切れさせない」ことが重要